



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東
 コード番号 5271 URL http://www.toyoasano.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 植松 泰右 (TEL) 055(967)3535
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	6,284	△3.8	226	490.7	172	—	116	—
23年2月期第2四半期	6,532	△0.9	38	△85.6	△13	—	△28	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	9 75	—
23年2月期第2四半期	△1 99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	13,497	2,008	14.3	160 67
23年2月期	13,437	1,919	13.7	153 23

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 1,926百万円 23年2月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0 00	—	2 50	2 50
24年2月期	—	0 00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,000	2.9	290	—	170	—	130	—	10 84	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期2Q	14,408,400株	23年2月期	14,408,400株
24年2月期2Q	2,415,966株	23年2月期	2,415,966株
24年2月期2Q	11,992,434株	23年2月期2Q	14,393,299株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済に関しましては、依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災による供給面の制約が緩和する下で生産や輸出が増加し、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、サプライチェーンの制約、電力供給の制約等の下振れリスクが未だ存在し、不透明感の強い状況で推移しました。

当社グループの事業分野であります建設業界に関しましては、公共投資、民間部門とも建設投資は若干持ち直しの動きが見られますが、依然として量的な需要水準は低く、総じて弱い動きで推移しております。

当社グループの主力事業でありますコンクリート二次製品事業のうちコンクリートパイル部門につきましては、若干需要に回復の兆候は見られますが、依然として需要の量的な水準は低いこと、回復の見通しについても不透明感が強いこと等から、厳しい事業環境が続いています。

第2の柱でありますコンクリートセグメント事業につきましては、従前の公共投資削減の影響を受けて需要が減少し、販売競争が激化する下で厳しい事業環境が続いています。

このような環境下で当社グループは、平成22年度を初年度とする「中期3カ年計画」に即し、販売シェアの拡大、および徹底的なコスト削減に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,284百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益は226百万円（前年同四半期比490.7%増）、経常利益は172百万円（前年同四半期は13百万円の経常損失）、四半期純利益は116百万円（前年同四半期は28百万円の純損失）となりました。

セグメント毎の業績を示すと、次のとおりであります。

①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力部門でありますコンクリートパイル部門につきましては、競合メーカーとの激しい販売競争の中、MRXX工法を中心とした高支持力杭工法の販売拡大により、一定の受注量を確保できたことに加え、製造原価の削減効果が本格的に表れてきたこと等が営業利益増に大きく寄与し、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,337百万円、営業利益は287百万円となりました。

②コンクリートセグメント事業

コンクリートセグメント事業につきましては、需要規模縮小が受注競争を一段と激化させ、依然として厳しい事業環境でありました。当社グループは更なる製造原価の低減により競争力強化に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は949百万円、営業利益は16百万円となりました。

③工事業

工事業につきましては、コンクリート二次製品事業が一定の受注量を確保できたことに加え、工事が総じて順調に進捗したことやコスト管理体制を強化したこと等が増収・増益に寄与し、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,902百万円、営業利益は88百万円となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は94百万円、営業利益は70百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、60百万円増加して13,497百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、29百万円減少して11,489百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて89百万円増加して2,008百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、14百万円増加して1,683百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、125百万円の減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益200百万円、減価償却費218百万円及びたな卸資産の減少額74百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額236百万円、仕入債務の減少額300百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、93百万円の減少となりました。

これは、主にゴルフ会員権の売却による収入44百万円、ゴルフ会員権の退会による収入40百万円及び有形固定資産の取得による支出175百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、233百万円の増加となりました。

これは、長期借入れによる収入1,275百万円、長期借入金の返済による支出955百万円、リース債務の返済による支出107百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、平成23年4月15日の決算発表時に公表いたしました第2四半期及び通期の業績予想を修正しました。具体的な内容につきましては、平成23年9月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

・ 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

・「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

・四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,253	1,699,588
受取手形及び売掛金	2,846,478	2,614,402
商品及び製品	532,603	552,007
原材料及び貯蔵品	183,747	190,404
未成工事支出金	89,906	138,804
その他	233,175	269,631
貸倒引当金	△7,999	△7,560
流動資産合計	5,592,165	5,457,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,525,110	1,563,631
土地	4,771,873	4,771,873
その他（純額）	785,511	812,725
有形固定資産合計	7,082,495	7,148,231
無形固定資産		
投資その他の資産	61,934	67,240
投資有価証券	244,397	245,283
その他	523,974	527,221
貸倒引当金	△7,598	△7,976
投資その他の資産合計	760,774	764,529
固定資産合計	7,905,203	7,980,000
資産合計	13,497,369	13,437,280
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,733,730	4,033,773
短期借入金	2,936,894	2,801,668
未払法人税等	84,055	27,658
その他	385,178	490,053
流動負債合計	7,139,858	7,353,153
固定負債		
長期借入金	3,750,865	3,537,079
退職給付引当金	150,597	146,051
役員退職慰労引当金	124,800	114,683
その他	322,880	367,041
固定負債合計	4,349,143	4,164,855
負債合計	11,489,002	11,518,008

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	589,841	589,841
利益剰余金	790,397	703,512
自己株式	△176,604	△176,604
株主資本合計	1,924,054	1,837,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,732	396
評価・換算差額等合計	2,732	396
少数株主持分	81,580	81,706
純資産合計	2,008,367	1,919,271
負債純資産合計	13,497,369	13,437,280

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	6,532,839	6,284,345
売上原価	5,819,193	5,417,237
売上総利益	713,645	867,107
販売費及び一般管理費	675,308	640,653
営業利益	38,336	226,454
営業外収益		
受取利息	1,121	1,134
受取配当金	3,772	10,515
負ののれん償却額	1,298	1,298
その他	24,005	11,117
営業外収益合計	30,197	24,066
営業外費用		
支払利息	74,759	72,165
その他	7,429	6,135
営業外費用合計	82,189	78,301
経常利益又は経常損失(△)	△13,654	172,219
特別利益		
固定資産売却益	141	—
ゴルフ会員権退会益	—	34,800
特別利益合計	141	34,800
特別損失		
固定資産売却損	516	—
固定資産除却損	1,013	3,027
投資有価証券評価損	6,616	3,837
産業廃棄物処理費用	1,384	—
特別損失合計	9,530	6,865
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,043	200,154
法人税等	5,033	82,508
少数株主損益調整前四半期純利益	—	117,645
少数株主利益	607	779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,684	116,866

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,995,054	2,872,980
売上原価	2,600,129	2,503,642
売上総利益	394,925	369,337
販売費及び一般管理費	345,926	334,227
営業利益	48,999	35,110
営業外収益		
受取利息	238	293
受取配当金	3,772	7,769
負ののれん償却額	649	649
その他	6,958	5,340
営業外収益合計	11,618	14,053
営業外費用		
支払利息	36,481	35,885
その他	3,301	1,956
営業外費用合計	39,782	37,842
経常利益	20,834	11,322
特別損失		
固定資産除却損	—	3,027
投資有価証券評価損	6,616	—
産業廃棄物処理費用	1,384	—
特別損失合計	8,000	3,027
税金等調整前四半期純利益	12,834	8,294
法人税等	6,087	450
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,843
少数株主損失(△)	△351	△151
四半期純利益	7,098	7,994

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,043	200,154
減価償却費	282,461	218,968
のれん償却額	1,850	1,850
負ののれん償却額	△1,298	△1,298
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,318	60
退職給付引当金の増減額(△は減少)	916	4,546
受取利息及び受取配当金	△4,893	△11,650
支払利息	74,759	72,165
手形売却損	4,156	4,729
有形固定資産売却損益(△は益)	375	—
有形固定資産除却損	1,013	3,027
投資有価証券評価損益(△は益)	6,616	3,837
ゴルフ会員権退会益	—	△34,800
産業廃棄物処理費用	1,384	—
売上債権の増減額(△は増加)	△314,058	△236,426
たな卸資産の増減額(△は増加)	234,426	74,959
仕入債務の増減額(△は減少)	550,600	△300,043
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,072	11,890
未収消費税等の増減額(△は増加)	35,665	4,953
その他	△113,902	△65,986
小計	749,780	△49,062
利息及び配当金の受取額	4,960	11,636
利息の支払額	△76,497	△72,390
法人税等の支払額	27,633	△15,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	705,877	△125,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△338,032	△175,912
有形固定資産の売却による収入	11,020	—
ゴルフ会員権の売却による収入	—	44,850
ゴルフ会員権の退会による収入	—	40,000
貸付けによる支出	△4,725	—
貸付金の回収による収入	7,310	3,000
その他の収入	3,709	5,926
その他の支出	△21,317	△11,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342,035	△93,238

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△6,666	30,002
リース債務の返済による支出	△40,310	△107,938
セール・アンド・リースバックによる収入	149,563	23,131
長期借入れによる収入	900,000	1,275,000
長期借入金の返済による支出	△975,650	△955,990
自己株式の取得による支出	△164	—
配当金の支払額	△36,694	△30,004
少数株主への配当金の支払額	△900	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,822	233,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	353,019	14,665
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,844	1,669,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,748,864	1,683,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

	コンクリート二次製品事業 (千円)	コンクリートセグメント事業 (千円)	工事事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	3,412,812	1,212,101	1,811,076	96,848	6,532,839	—	6,532,839
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	15,061	15,061	(15,061)	—
計	3,412,812	1,212,101	1,811,076	111,910	6,547,900	(15,061)	6,532,839
営業利益	118,208	45,368	60,963	70,812	295,353	(257,016)	38,336

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品等

- ・コンクリート二次製品事業・・・パイル、建材等のコンクリート二次製品
- ・コンクリートセグメント事業・・・コンクリートセグメント、スチールセグメント
- ・工事事業・・・既製コンクリート杭工事、仮設山留工事、場所打ちコンクリート杭工事
- ・その他事業・・・不動産賃貸業、保険代理業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

本邦以外の国又は地域における海外売上がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、コンクリート二次製品事業、コンクリートセグメント事業、工事業及び不動産賃貸事業の4つの事業単位を基本として組織が構成されております。

従って、当社は、「コンクリート二次製品事業」、「コンクリートセグメント事業」、「工事業」及び「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「コンクリート二次製品事業」は、コンクリートパイルの製造・販売、建材等の販売を行っております。「コンクリートセグメント事業」は、コンクリートセグメントの製造・販売を行っております。「工事業」は、諸工事の請負を行っております。「不動産賃貸事業」は、当社所有の不動産を賃貸しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	3,337,149	949,976	1,902,974	94,244	6,284,345	—	6,284,345
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替 高	148,161	—	—	14,724	162,885	△162,885	—
計	3,485,310	949,976	1,902,974	108,968	6,447,230	△162,885	6,284,345
セグメント 利益	287,226	16,907	88,785	70,216	463,135	△236,681	226,454

(注) 1 セグメント利益の調整額△236,681千円には、セグメント間取引消去14,557千円、のれん償却額△1,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249,388千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。